

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
三菱UFJリース株式会社
取締役社長 柳井隆博
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

コーポレートコミュニケーション部長 楠 浩一

TEL 03-6865-3002

英国における洋上風力発電事業への参画について

三菱UFJリース株式会社（以下「当社」）は、英国スコットランド北東部モーレイ湾沖で行う Moray East 洋上風力発電事業（以下「本事業」）に参画することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、英国のインフラ関連投融资子会社 MUL Infrastructure UK Limited を通じて、三菱商事株式会社の英国子会社 Diamond Generating Europe Limited（以下「DGE」）から、本事業持分の33.4%を保有する Diamond Green Limited（以下「DGL」）の株式の20.0%を取得することで合意し、この度 DGE と持分売買契約を締結しました。これにより、当社は本事業持分の6.68%を保有することとなります。

本事業は、大手再生可能エネルギー事業者である EDP Renewables SA（本社：スペイン・マドリード市）、大手電力会社である ENGIE SA（本社：フランス・ラデファンス市）および DGL が共同出資する Moray Offshore Windfarm (East) Limited（以下「MOWEL」）を発電事業会社として、洋上風力発電所（以下「発電所」）の建設・保守・運転を行うものです。

2018 年中に発電所の建設を開始し、2022 年に商業運転を開始する予定です。発電所には世界最大級の設備容量（9.5MW）を持つ風車を100基設置し、総発電容量は950MW（一般家庭約100万世帯分に相当）と英国で最大規模となります。

当社は「社会インフラ」を重点産業分野の一つに位置付け、国内外でさまざまな取り組みを推進しております。当社の欧州における再生可能エネルギー関連の取り組みは、ドイツの洋上風力発電所向け海底送電事業への出資、アイルランド共和国の陸上風力発電事業への出資に続いて3件目となります。

洋上風力発電は、グローバルベースでの低炭素化社会の実現に向けて、欧州はもちろんのこと日本をはじめとする世界各国で注目されている電源の一つです。当社は、本事業への出資参画を通じて得た実績や洋上風力発電所の建設・運転に関わるノウハウを活かしながら、再生可能エネルギー分野でさらなる事業拡大を図るとともに、グローバル規模での社会インフラ整備に貢献してまいります。

以上

【Moray East 洋上風力発電事業の概要】

| | |
|--------|---------------------------------------------------|
| 発電事業会社 | Moray Offshore Windfarm (East) Limited |
| サイト | 英国スコットランド北東部モーレイ湾沖 |
| 総発電容量 | 950MW (MHI Vestas Offshore Wind 製 9.5MW 風車×100 基) |

【MOWEL の概要】

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 英国・エディンバラ市 |
| 株主構成 (間接出資) | EDP Renewables SA : 43.3% ENGIE SA : 23.3% Diamond Green Limited : 33.4% |

【DGL の概要】

| | |
|-------------|----------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 英国・ロンドン市 |
| 株主構成 (間接出資) | 三菱商事株式会社 : 50.0% 関西電力株式会社 : 30.0% 三菱 UFJ リース株式会社 : 20.0% |

【プロジェクトサイト】



Moray East
洋上風力発電事業
建設地